

事務連絡
平成21年6月18日

各 { 都道府県
政令市
特別区 } 衛生主管部(局) 御中

厚生労働省健康局疾病対策課肝炎対策推進室
結核感染症課
医薬食品局食品安全部監視安全課

E型肝炎ウイルス感染事例について

標記につきましては、平成15年8月1日付け健感発第0801001号及び食安監発第0801001号、同年8月19日付け健感発第0819001号及び食安監発第0819002号により、野生動物の肉や豚レバーなどの豚由来の食品については十分に加熱調理を行うよう注意喚起を行う旨お願いしているところです。

今般、別添のとおり、E型肝炎事例に関して、厚生労働科学研究費補助金により実施している研究事業において別添の健康危険情報が把握されました。

感染経路については特定されていませんが、念のため、貴管下営業者及び消費者に対し、改めて、これらの食品についての生食を避け、喫食する場合には十分に加熱するように周知方よろしく申し上げます。

なお、これらのE型肝炎に関する正しい情報の提供を目的として、厚生労働省のホームページにQ&Aを掲載しているほか、感染症法に基づくE型肝炎の報告例の概要やこれまでの研究事業の内容もホームページを通じて情報提供しておりますので業務の参考とされるよう申し上げます。

(Q&A：<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2003/08/h0819-2a.html>)

1994年4月～2008年26週の報告例：<http://idsc.nih.go.jp/disease/hepatE/index.html>

研究の内容：<http://mhlw-grants.niph.go.jp/>)

(別添)

E型肝炎に関する健康危険情報通報の概略

1. 通報年月日：平成21年6月2日
2. 通報者：主任研究者 矢野公士
3. 研究課題名：平成21年度「経口感染する肝炎ウイルス（A型、E型）の感染防止、遺伝的多様性、および治療に関する研究」

4. 通報の概要：

平成16（2004）年に北見のE型肝炎ウイルス（HEV）集団感染事例（うち1例は劇症肝炎で死亡）、平成18（2006）年には網走の劇症E型肝炎患者（うち一例は劇症肝炎、但し生存）、から採取された株と同系統のHEV（強毒性HEV「北見／網走株」；以下Kitami/Abashiri strain）が、先ごろ（平成21（2009）年3月）、函館の劇症肝炎患者からも検出された。

患者は60歳男性。慢性関節リウマチに対し某医院でプレドニン、リマチル、MTX、レミケードなどを投与中。平成21（2009）年3月上旬より倦怠感出現。同19日に肝障害を認め、黄疸も出現したため同30日A病院受診。4月6日には肝性脳症Ⅱ度が出現。劇症肝炎（亜急性型）と診断。同21日死亡。

本例から採取されたHEV株を遺伝子解析した結果、遺伝子型4型に属し、特に北見（平成16（2004）年）と網走（平成18（2006）年）の劇症E型肝炎患者から採取されたKitami/Abashiri strainの一群のHEV株ときわめて近縁であることが判明した。

5. 研究班の概要

平成18～20年度において「E型肝炎の感染経路・宿域・遺伝的多様性・感染防止・診断・治療に関する研究」、平成21年度より「経口感染する肝炎ウイルス（A型、E型）の感染防止、遺伝的多様性、および治療に関する研究」を行っている。

平成18～20年度の研究は、協力施設における成因不明急性肝炎におけるE型肝炎の割合といった患者調査、北海道血液センターでの献血者集団におけるHEV RNA陽性率調査といった疫学・実態調査、保有宿主としてブタ・イノシシ・シカ・シジミなどからのHEV RNAの確認、安定したHEVの細胞培養系の開発などの基礎研究が行われ、診断に関してもHEV IgA測定系の有用性が報告された。また、遺伝子型によって顕性化、重症度が異なる事が報告された。